

サポートブック「虹のかけはし」ご利用にあたって

サポートブックとは

- ◇ サポートブックは、保育園や学校など、お子さんがおうちの方と離れて過ごす場所で、お子さんと関わる人にお子さんを理解してもらうための支援ツールです。
- ◇ サポートブックを活用することで、おうちの方もお子さんも、関わる人も安心してその場を過ごすことができます。また、おうちの方にとってはサポートブックを書くことでお子さんの成長を振り返り、よりよい支援方法を考える機会となります。



書く内容

- ◇ 氏名や住所、生まれてからの発達の記録など基礎情報。医療機関にかかっている場合は、医療機関での受診・リハビリ・服薬などの情報
- ◇ 生活の場面におけるお子さんの特徴、配慮や工夫をしてみて有効だった支援内容

書き方のポイント

- ◇ 年度末や大きな変化（担任の先生が変わった・生活環境が変わったなど）があった後に、支援内容について確認をし、具体的に整理をしてみましょう。
- ◇ 文章はなるべく肯定形で書きましょう。「～できません」と書くより「～すればできます」と書きましょう。
- ◇ シンプルな言葉で、伝えたいことはポイントを絞って書くと相手に伝わりやすくなります。
- ◇ 情報を持っていく場所や渡す相手によって内容や量は調節しましょう。
- ◇ 「～してください」という要望ばかりになってしまわないように注意しましょう。



無理せずに・・・

- ◇ 書き方に悩んだ時には、周りの支援者（保健師、利用施設のスタッフ、保育園・幼稚園の先生など）に相談してみましょう。
- ◇ サポートブックは、絶対に作らなければいけないものではありません。おうちの方が、お子さんのことを支援者に伝える手段のひとつです。あまり力まずに、楽しんで作って活用してください。

注意事項

- ◇ この手帳は、お子さんの障害を認定したり、証明するものではありません。
- ◇ この手帳は、おうちの方または本人が活用・保管してください。手帳に記載されている内容は**大切な個人情報**ですので、管理には十分注意を払ってください。
- ◇ この手帳によって、特定の福祉サービスが受けられるものではありません。
また、この手帳によって、税金や公共機関、公共交通の割引等が行われるものではありません。